

戦気 NO-10

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです



11月2日 後楽園ホール 第65回 東日本新人王決勝戦 鬼ヶ島竜 4RTKO勝ち 新人王・技能賞獲得

11月2日、後楽園ホールで東日本新人王決勝戦が行われ三谷ジムから4選手が出場した。東日本新人王戦の10試合は第1試合の鮮烈なKO劇からスタートした。

第1試合はミニマム級の島津健人選手と鬼ヶ島竜の戦いだった。



4ラウンド、鬼ヶ島の右ストレート
 鬼ヶ島竜選手の言葉

1ラウンドから3ラウンドまでは一進一退だが鬼ヶ島が優勢。4ラウンドに入って鬼ヶ島が積極的に打って出て左右のフックから右ストレートが決まり島津選手が完全にダウン。レフリーはノーカウントで鬼ヶ島の勝利を宣言した。リングに担架が運び込まれたが暫くして島津選手は意識を取り戻し立ち上がり、お互いの健闘を讃えあった。鬼ヶ島は新人王と同時に技能賞を獲得した。

鬼ヶ島は僕の出身地で瀬戸内海に本当にある島です。僕が活躍することで島の名前が知れたら嬉しいです。全日本決勝戦は僕がMVPを獲って会長に恩返しできるようなこれからも頑張ります。

斉藤 司 1RK0勝ち 新人王・最優秀選手賞

第6試合はフェザー級の澤井大祐選手と斉藤司の戦いだった。



1ラウンド、2度目のダウンを奪う
 斉藤司選手の言葉

1ラウンドに2度のダウンを奪い決着は斉藤の右ストレートが炸裂した1分12秒の見事なKOだった。斉藤は試合前からMVPを獲ることを宣言していた。有言実行の戦いでフェザー級の新人王と同時に最優秀選手賞を獲得。試合後のインタビューでは「世界チャンピオンを目指して戦い続ける」と力強く宣言。

三谷会長がいたからこそまでやってこられました。三谷会長のおかげです。僕は世界チャンピオンを目指しているのでも新人王は世界への通過点でリハーサルだと思っています。世界チャンピオンになって家族をお母さんを幸せにしたい。



ごんごちゃんを見た！！

ボクシングの世界は、相手と1メートルという至近距離で「チャンピオンになる」という相手の夢を打ち砕くことを通して「自分がチャンピオンになる」夢を実現させていく世界です。生半可な気持ちでは絶対に続けることが出来ません。その世界に自分から飛び込んで行ったジム生の諸君！自分を信じ、努力しよう。周りのアドバイスも本人が如何にボクシングというスポーツに真剣に向き合うかで結果が全く違ってきます。自己管理をキッチリし全力で戦おう。



表彰後のリング上で三谷会長・マネージャー・紅彩と

玄間晃裕 5R判定負け

第7試合はスーパーフェザー級の玄間晃裕と阿部隆臣選手の戦いだった。1ラウンドから5ラウンドまで終始、阿部隆臣選手がポイントを獲得。阿部選手の長いリーチを活かしたボディ攻撃が随所に見られた。3ラウンドに玄間の鼻血でドクターチェックが入った。判定結果は3:0(50:45,50:45,49:46)で阿部選手の勝利。

山本直平 4R判定負け

第9試合はスーパーライト級の山本直平とユン・ムンヒョン選手の戦いだった。山本はガードを固め得意の左ボディを打ちながら前進したが対戦相手のユン・ムンヒョン選手の方がテクニックが上だった。4ラウンド判定の結果、3:0(40:37,40:37,40:37)でのユン・ムンヒョン選手の判定勝ち。試合後、31歳の山本は腫れた顔に絆創膏を貼り氷で拳を冷やしていたが最大限よく戦った。立派だった。

三谷会長のコメント

みんなよく戦った。二つのクラスで新人王を獲れた。合わせて司はMVP、鬼ヶ島は技能賞が獲れた。本人の努力は勿論だがジム生のみんなが協力したからこそタイトルが獲れた。康太が切り開いた道をみんなで前進している。これから来月の全日本に向け気合いを入れて行こう。

スケジュール

- 11月10日 大塚メロン貴光:8戦、福本雄基:9戦、
- 11月24日 第7回 三谷大和スポーツジム スパリング大会
- 12月21日 鬼ヶ島竜、斎藤司、全日本新人王決勝戦

編集後記

ボクサーにとって最も重要なのは『勇氣』である。勇氣は先天的に生まれた時から持っているものではなく日常生活体験の中から後天的に取得するものだ。ボクサーにはこの勇氣が最も重要なのだ。決勝戦の結果は負けでも『勇氣』あるボクサーに心から拍手を贈ります。